

<台風接近状況別行動チェックリスト>

《台風発生前に行うこと》

- 地域のハザードマップを入手する
- 近所の危険な場所を確認する
- 自宅の側溝や排水溝を掃除する（つまっていると洪水の原因に）
- 屋根、塀、壁などを点検・補強する
- 庭木の確認と手入れ（倒れる危険はないか）
- 非常用品をリュックサックに入れる（両手がつかえるので）
 - ・防水機能のある懐中電灯（夜間に自分の居場所を知らせることもできる。胸ポケットにさせるタイプ、ヘッドライトだと両手があくので便利）
 - ・予備電池
 - ・着替え
 - ・タオル
 - ・マッチやライター
 - ・救急薬品
 - ・携帯ラジオ
 - ・貴重品（公衆電話に使える10円玉も）
 - ・非常用食料水（飲料水、乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰、粉ミルク、哺乳ビン、ナイフ、缶切りなど）
 - ・太く書ける黒マジック（被災後、壁などに連絡先やメッセージを書いたり、自分の所有物に名前を書く）
 - ・丈夫な靴（底がしっかりしていて脱げにくいもの）
 - ・軍手
 - ・使い捨てカイロ
 - ・マスク（土砂災害が起きたのち乾燥してくるとめちやくちや埃が出る。ゴーグルもあればうれしい）
 - ・紙おむつ
 - ・生理用品
 - ・厚手のごみ袋 など
- 家族で緊急連絡手段、方法、落ち合う場所を決める
- 避難場所の確認
 - ・避難場所が遠い場合、隣近所の2階以上の頑丈な建物に避難させてもらうほうが安全な場合も
 - ・避難場所までの経路で低いところ（浸水しやすい）、崩れやすい場所はないかなどの確認
- 隣近所の人たちとのコミュニケーション（これは日頃から。あいさつが基本。被災後に安否確認したり作業を助け合ったりすることができる）

《台風接近前に行うことチェック》

- 情報を確認する
- 庭木に支柱を立てる
- 塀を補強する
- 強風で飛ばされる可能性のあるものはしまうか固定
 - ・傘立て、傘（傘は凶器になる）

- ・植木鉢やプランター
- ・ガーデニングの道具
- ・ロードコーン

□窓や雨戸を補強する

□浸水対策をする

- ・家財や家電を高所や2階に移動する
- ・電気のコンセントを抜く

□断水に備えて飲料水を確保する

□浴槽に水を張るなどしてトイレなどの生活用水を確保する

□非常持ち出し品を準備する

《台風接近・通過時に行うこと》

□外出は控える

□水のあるところに行かない（用水路、河川、海岸など）

□低いところに行かない（地下街なども）

□山や丘を切り開いて作られた造形地、河川が山地から平野や盆地に移る扇状地に行かない

《避難するときに行うこと》

□火の元、ガスの元栓、電気のブレーカーを落とす

□戸締りを確認する

□最小限の持ち物（あらかじめ用意しておいたリュックサック）

□両手を自由に使えるようにする

□脱げない靴

作業靴、紐履などの紐をギュッと結んで、中に泥が入らないようにする。水かさが増しているときは長靴やサンダル履きだと、最初の一步で土砂に埋まり、脱げてしまうケースがある。すると裸足で歩くことになり、地面にガラスや鉄筋があると危険。

《通過後に行うこと》

□落ちついて情報確認

雨が止んで上流方面から水がきて増水することもある。しばらくは家や避難所に止まる。地盤が緩んでいるので十分に注意。少しの雨でも崩れることがある。

□復旧作業で必要なもの

- ・マスク（天気が回復してくると埃が舞う。粉塵よけ）
- ・ゴーグル（天気が回復してくると埃が舞う。粉塵よけ）
- ・軍手（ゴム製がよい）
- ・カッターナイフ、ドライバー
- ・厚手で大きめのゴミ袋（ものを入れて運ぶの便利）
- ・油性の太マジック（流された所有物に名前を書く、連絡を取り合うなど）
- ・長靴やサンダルはぬげると足裏を負傷する恐れがあるので、作業靴か底のしっかりした靴がよい
- ・水分補給と休養（熱中症に気をつけて）

※上記をベースに各自でチェック項目の追加や修正を行ってください。